

## IEEE Sendai Section LMAG/WIE/YP 合同講演会

■日時： 2021年11月27日(土) 13:15~16:30 (13:00~13:10 Sendai LMAG 総会)

■開催方法： Zoom によるオンライン開催

■主催 (合同主催)： IEEE Sendai Section LMAG, WIE, YP

■協賛： Tohoku University Student Branch, The University of Aizu Student Branch

■プログラム

---

13:00-13:10 Sendai LMAG 臨時総会 (10分) ※Sendai LMAG メンバー対象

---

13:15-16:30 IEEE Sendai Section LMAG, WIE, YP 合同講演会

・ Sendai LMAG, WIE, YP 合同講演会について (15分)

水野皓司 (Sendai LMAG Chair), 菊池仁 (Sendai WIE Chair), 北川冬弥 (Sendai YP Chair)

※今回の講演は、合同主催する各グループによる推薦により構成しております。

(講演1：YP からの推薦, 講演2：WIE からの推薦, 講演3：LMAG からの推薦)

---

・ 講演1 「IEEE TOWERS の運営を通して得た若手研究者コミュニティ」 (60分)

土屋 充志 氏 (筑波大学 大学院理工情報生命学術院 システム情報工学研究群修士課程2年)

---

[講演要旨]

IEEE TOWERS は今年で18回目の開催を迎えた学生のみで運営が行われてきたワークショップになります。コロナ禍によって多くの学会等がオンライン開催になる中、本年の IEEE TOWERS もオンラインでの開催となりました。若手研究者のための異分野学術交流を掲げた IEEE TOWERS はコミュニケーションの質に重視し、開催の準備に取り組んできました。また、コロナ禍以前のような学会後のコミュニケーションが難しくなった現在、IEEE TOWERS 実行委員会のようなコミュニティが若手にとって重要となっています。

本講演では講演者が IEEE TOWERS 実行委員長を経験した際の事例を紹介しながら、今後の若手研究者コミュニティについて展望します。

---

---

・講演2 「材料化学の研究～女性研究者として企業と大学での研究を中心に～」 (60分)

丸尾 容子 氏 (東北工業大学 工学部環境応用化学科 教授)

---

[講演要旨]

講演者のこれまでの研究者としての歩みを企業での研究及び大学での研究を育児や介護の経験を交えてお話しいたします。特に女性研究者として2人の子供を育てながらどのように研究テーマを変更し企業での研究に取り組んできたのか、またそれに加わった介護にどのように取り組んできたのかお話しして、若い女性の研究者へ情報を提供いたします。また大学に移ってからの現在の研究テーマであるナノ多孔体中での化学反応を用いた化学センサの研究及び呼気分析への適用とその展望についてお話しいたします。

---

・講演3 「スピントロニクス半導体の現状と我が国の半導体戦略への貢献」 (60分)

遠藤 哲郎 氏 (東北大学大学院工学研究科・電気通信研究所 教授,  
国際集積エレクトロニクス研究開発センター長)

---

[講演要旨]

本招待講演では、エレクトロニクス産業・自動車産業等のメガトレンドに基づき、世界で進んでいる半導体産業戦略動向を俯瞰すると共に、消費電力と演算性能のジレンマを解決するキー技術であるスピントロニクス技術について議論する。

具体的には、MRAM技術とそれを活用した超低消費電力AI・IoTプロセッサの研究開発状況に加えて、東北大学発スタートアップ企業であるパワースピン(株)についてもご紹介し、今後の我が国の半導体技術の在り方について議論する。

---

■ 参加費：無料 (参加定員：100名)

■ 参加申込：以下のサイトよりお申し込みください。

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_6kBNAYpMSeCbLkCRJCgOhw](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_6kBNAYpMSeCbLkCRJCgOhw)

■ 申込期限：2021年11月25日(木) ※但し、定員に達した場合受付を終了します。

■ 問合せ先：澤谷 邦男 (IEEE Sendai LMAG Secretary)

sawaya[at]ecei.tohoku.ac.jp

※メール送信の際は[at]を@に変換してください。